

長雨と日照不足に応じた管理について

7月9日新潟気象台発表によると、前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、今後2週間程度は降水量が多く、日照時間が少ない見込みです。

幼穂形成期の日照不足は、稲体が長草化と茎質の軟弱化を招きます。また葉色が濃く倒伏や籾数過剰が懸念されるため、的確な管理に努めましょう。

1 コシヒカリの穂肥対応について

管内のコシヒカリの葉色は濃く、1回目の穂肥は「遅め・控えめ」が基本となります。今後も降雨と日照不足が続き、このまま葉色が濃い場合は施用を見送ることも検討してください。

2回目穂肥は、出穂10日前に確実に実施しましょう。

2 降雨に合わせた今後の水管理

幼穂形成期以降の長時間のため水は、根腐れしやすく根の活力が低下します。降雨が続く場合は、ほ場の水尻や暗きよを開放するなど排水管理を徹底してください。

また、中干しが不十分で小ヒビがない水田は、作溝が埋まり土壌が軟弱な傾向にあります。必要に応じ、排水溝を直したり、もう一度溝切りを実施するなど、ほ場管理に努めてください。

お問合せ	上越農業普及指導センター	作物担当	TEL：025-526-9406
	J A えちご上越	本店 農業対策課	TEL：025-527-2050
		わかば営農センター	TEL：025-599-2028
		頸北営農センター	TEL：025-530-3000
		上越営農センター	TEL：025-523-5075
		頸南営農センター	TEL：0255-78-2475